

「創立70周年記念式典」を開催 自動車業界の大きな変化に対応するために

(一社)山梨県自動車整備振興会
山梨県自動車整備商工組合

県内の自動車整備事業者が加盟する(一社)山梨県自動車整備振興会と山梨県自動車整備商工組合(小林達也会長・理事長 会員925事業場)は、令和3年12月に創立70周年の節目を迎え、1月22日に記念式典を開催した。当日は組合員をはじめ、来賓として関東運輸局、山梨県、中央会などが出席した。式典では、団体に対し関東運輸局などから特別顕彰が贈呈され、団体からは永年認証事業場などに表彰が行われた。また、社会貢献活動の一環として山梨みどり奨学金に対し交通遺児への奨学金が寄贈された。

当団体は、昭和26年に自動車整備技術の向上・促進と整備業の健全な発展を目的に設立された。設立当時はまだ自動車の普及が進んでおらず、山梨県の自動車保有台数はわずか3,000台だったため整備業を営む事業者も少なく、創立当時の会員

数は16事業場だった。その後、自動車は我が国の基幹産業となるまでに発展するとともに、当団体の会員数も増加、現在は925事業場まで増えている。また、山梨県では自動車は生活必需品の一つといわれ1世帯あたりの自動車保有台数は全国10位と上位に位置することから、整備事業者がこうした県民のカーライフを支えている。

こうした中、自動車業界は100年に1度といわれる変革期を迎えている。自動車整備業者には自動ブレーキや自動運転システムなどの技術革新に対応するため、技術力に加え電子技術の知識習得も求められている。さらに、世界的に進む脱炭素社会実現のに向けた電気自動車の普及では、業界として一層の技術革新への対応が迫られることになる。

団体では、大きく変化する自動車業界で今後も技術研修や経営改善などスピード感を持った事業者支援を通じて本県の安全で快適なカーライフを支えるため、70周年を契機に更なる業界の発展を目指していく。



式辞を述べる
小林会長・理事長



担当: 仲澤